

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 27-022

PDCA	事務事業名	半田中学校運動場整備事業	部課等名	教育部 学校教育課 総務担当	担当	田中	
					内線等	518	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第1節 学校教育の充実 基本施策： 1. 義務教育 単位施策： (5) 安全・安心な学校づくりの推進 個別施策： ①校舎、体育館等の改修改築					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	経年劣化が進み、水はけの悪くなった運動場の排水環境の改善を図るため、周辺の雨水排水設備と表層の整備を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	現地調査を行い運動場の排水環境整備の設計を行う。また、工事期間中は学校運営と調整を図りながら工事を進める。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		運動場整備工事			1	式	
		事業費			29,678	千円	
		人件費			802	千円	
		総事業費			30,480	千円	
	活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位		
	成 果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		事業進捗率（運動場整備工事）	実績値			100	%
			目標値			100	
			実績値				
		目標値					
		実績値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		半田中学校の運動場の全面的な整備を終えた。今後は、各幼稚園・小中学校の運動場において、水はけ不良等の状況を把握を行い、著しく不良しているところは、建物の更新時期を考慮しながら運動場の環境の改善を図る。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了				
		令和3年度の目標	成果指標		目標値	単位	